

平成29年度

事業報告書

自：平成29年4月1日

至：平成30年3月31日

社会福祉法人 まどか

理事長 神谷 和孝

社会福祉法人まどか
平成29（2017）年度 事業報告

1. 理事会の開催

2017年 5月27日（土）	2017年 6月22日（木）
2017年11月19日（土）	2018年 3月18日（土）

2. 評議員会の開催

2017年 6月22日（木）	2017年12月 2日（土）
2018年 3月18日（日）	

※ 2017年12月2日は、書面評決により決議があったものとみなされる日。

3. 定款の変更及び認可

変更なし。

4. 指定

変更なし。

5. 施設整備

理事会および評議員会において方向性の検討が行われ、次年度に法人の中長期計画の策定を行うこととなった。その上で、中長期計画に基づき不動産取得または施設移転等の具体的取り組みを実施していく。

6. 2017年度社会福祉法人指導監査結果

実施なし。

7. 施設運営（2018年3月末現在）

① 利用定員

すみれ工房	1日当たり	20人（小規模多機能型）
就労移行支援	1日当たり	6人
就労継続支援B型	1日当たり	14人
とまり木		
地域活動支援センター	1日当たり	20人

② 職員数

すみれ工房

管理者	1名（常勤兼務）
サービス管理責任者	1名（常勤兼務）
就労移行支援	
就労支援員	1名（常勤）
職業指導員	1名（常勤）
生活支援員	1名（非常勤）
就労継続支援B型	
職業指導員	1名（非常勤）
生活支援員	1名（常勤）
目標工賃達成指導員	2名（非常勤）

とまり木

地域活動支援センター

施設長	1名（常勤）
生活支援員	1名（常勤）、2名（非常勤）

③ 主な年間行事

月	行事名
4月	観桜会
5月	親睦会（バーベキュー）
6月	夏期販売促進事業（実施期間：6月～8月）
7月	七夕杯ボウリング大会、三吉町東町内会夏祭り出店参加
8月	三吉町中之丁町内会夏祭り 出店参加、TLSF 彩フェスタ 出店参加

9月	防災避難訓練
10月	ふれあい福祉まつり 出店参加
11月	冬期販売促進事業（実施期間：11月～12月）
12月	クリスマス会、大掃除・納会
1月	初詣、 講演会「私たちは、だれと、どう生き抜こうとしているか？～愛媛県愛南町の 実践より～（講師：御荘診療所 長野敏宏所長）」（一般財団法人義倉助成事業）
2月	節分行事（手巻き寿司）、防災避難訓練
通年	産業カウンセラーによるカウンセリング、体力作り事業（スポーツレクリエー ション）、折り紙教室

④ 役職員研修

実施年月日	研修名 等
2017年5月13日	広島県精神障害者支援事業所連絡会 精神保健福祉講演会
2017年6月17日	障害のある人の権利擁護と差別解消 （主催：広島県障害者相談支援事業所連絡会）
2017年6月30日	広島県社会福祉法人経営者協議会 研修会
2017年7月8日	就労移行支援タウンミーティング （主催：全国就労移行支援事業所連絡会）
2017年7月20日	中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー （主催：広島県社会福祉法人経営者協議会）
2017年8月18日	就労移行支援事業所、特別支援学校及び高等学校との情報交換会 （主催：広島県福山・府中圏域障害者就労支援ネットワーク会議）
2017年8月21日	説明・説得能力向上研修（主催：広島県社会福祉協議会）
2017年9月8日	社会福祉法人研修会 （主催：日本公認会計士協会中国非営利法人委員会）
2017年10月19日	「福祉施設のための苦情対応」セミナー （主催：損害保険ジャパン日本興亜株式会社）
2017年11月15日 2018年1月11日 ～1月12日	広島県サービス管理責任者研修（主催：広島県）
2017年12月6日	職員基礎研修（主催：広島県精神障害者支援事業所連絡会）

2017年12月26日	高次脳機能障害について（外部講師を招いての法人内研修）
2018年1月27日 ～1月28日	SST（社会生活技能訓練法）ファーストレベル研修 （主催：NPO 法人地域生活支援ネットワーク ケアーサポート）
2018年2月10日 ～2月11日	精神保健福祉士実習指導者講習会（厚生労働省届出研修）
2018年2月17日 ～2月18日	障害者ケアマネジメント スキルアップ研修 （主催：広島県精神障害者支援事業所連絡会）
2018年3月14日	広島県社会福祉法人経営者協議会 総会・研修会
2018年3月17日	人権問題講演会「遠い存在ではないLGBT」～多様性が尊重される地域社会へ～（主催：神辺生涯学習センター）

⑤ 関係団体との連絡会議等

福山市障がい者地域総合支援協議会（就労支援部会、地域生活支援部会）
福山・府中障害保健福祉圏域障害者就労支援ネットワーク会議 （委員会幹事委員会、就労支援部会、企画研修部会）
一般社団法人 トータルライフサポートふくやま
福山市社会福祉施設連絡協議会
福山市障害者(児)施設連絡協議会
福山市小規模作業所連絡会
広島県精神障害者支援事業所連絡会
福山市地域福祉貢献活動協議会

7. 情報公開

法人ホームページおよび WAM NET（社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム）、全国社会福祉法人経営者協議会の web ページにて法人の事業活動および財務状況を公開。また、法人機関紙（年4回発行）と SNS（Facebook）にて活動状況を随時公開。

8. 法人が実施している公益的取組について

2017年6月19日に発足した福山市地域福祉貢献活動協議会へ同年7月10日より参画。

障害福祉サービス事業所 すみれ工房 平成29（2017）年度 事業報告

利用実績および経営状況について

○ 就労移行支援事業

今年度の利用状況は 61.8%と前年度と比較して 23.5 ポイントと大幅に増加しました。月平均利用契約者数においては 5.42 名と前年度より 1.84 名増となっています。今年度は他就労支援機関からの紹介等により利用状況の大幅な改善がある中で、4 名が一般企業へ就労され、うち 3 名が定着されました。また、ハローワークを始め、東部地域障害者就業・生活支援センターや広島障害者職業センター等、他の就労支援機関と継続して連携し前年度以前からの就労者も定着を継続されるなど、着実に実績を積み重ねることができました。

経営面では就労定着実績による加算増額と利用状況の改善があり、昨年度の 5,535,490 円より 4,810,620 円と大幅に増収し 10,346,110 円と安定した事業運営を行うことができました。

平成 30 年度報酬改定においては、より実績に基づいた報酬算定構造となっており、より事業としての役割と責任に基づく実績を求められていることも踏まえ、引き続き事業としての責任・役割を全うできるよう取り組んでいきます。

月別の利用登録者および利用者数の推移 (人)

	契約者	延べ利用者	1日平均	新規契約者	退所者
4月	7	90	4.29		1
5月	6	94	4.48	1	
6月	7	99	4.71		
7月	7	103	4.90		1
8月	6	88	4.19		1
9月	5	83	3.95	1	1
10月	4	64	3.05		1
11月	4	50	2.38	1	
12月	5	65	3.10		1
1月	4	70	3.33	1	
2月	5	75	3.57		
3月	5	80	3.81		
計(平均)	65	961	3.71	4	6
前年度	43	587	2.30	8	4
前年比較	22	374	1.41	△4	2

※ 契約者の計は、各月 1 日現在での利用契約者数の合計

年間実利用契約者：11 名、月平均利用契約者：5.42 名

○ 就労継続支援(B型)事業

昨年度は、利用状況の低迷から安定的な事業運営が危ぶまれる状況もありました。しかし、大幅に減少した昨年度から 11.6 ポイント増加し、今年度は 74.7%と一昨年度の利用状況と同程度以上まで改善しました。

大きな要因としては、年度当初から相談支援事業所やクリニック等の紹介により新規の利用契約者があったことと、法人内の他事業から移行があったことに加え、以前に利用されていた方が再度利用契約となったことが挙げられます。3名の再利用契約を含め延べ 11名の利用契約があるなど、個別対応を基本とし、利用者の人権と自己決定を尊重した活動を行っている事業方針について一定の評価が得られた成果と考えています。

利用契約者の増加により、経営面においては昨年度の 15,368,490 円より 2,567,660 円増収の 17,936,150 円と一昨年度と同程度の水準まで回復しました。しかし、契約者数の増加とそれに伴う利用状況改善があるも大幅な増収に至らなかった要因として、職員の異動とそれに伴う人材確保が困難であったため、一時期に加算の取得ができていなかったことが挙げられます。

月別の利用登録者および利用者数の推移 (人)

	契約者	延べ利用者	1日平均	新規契約者	退所者
4月	19	165	7.86	1	
5月	19	165	7.86	2	
6月	21	199	9.48	1	
7月	22	192	9.14	2	
8月	24	225	10.71	1	
9月	25	243	11.57	1	
10月	26	251	11.95		
11月	26	248	11.81		1
12月	25	248	11.81	1	1
1月	24	239	11.38	2	
2月	27	245	11.67		
3月	27	288	13.71		2
計(平均)	285	2,708	10.46	11	4
前年度	250	2,281	8.83	3	9
前年比較	35	427	1.63	8	△ 5

※ 契約者の計は、各月 1 日現在での利用契約者数の合計

年間実利用契約者：29名、月平均利用契約者：23.75名

利用者の状況

(平成 30 年(2018 年)3 月末現在)

男女比		障害種別(重複あり)					年齢層						
男性	女性	身体	療育	精神	発達	他	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均年齢
23	8	0	4	25	4	1	1	8	9	6	9	3	39.97

就労支援および就労実績、生産活動について

○就労移行支援事業

今年度も昨年度に引き続き、利用者個々のニーズに特化した個別支援プログラムを中心とした就労支援を実施しました。今年度も4名の方が一般企業での就労に繋がり、内3名が定着され、一定程度の実績を着実に積み重ねることができました。毎年の就労された方についても、他就労支援機関との連携、就労先の企業担当者との電話連絡・訪問による調整など、就労中の方との面談と併せて精力的に活動することで定着率の維持を図る事ができました。

今年度は年間を通じて5.42名と安定的な利用者の確保を行うことができました。これは一定程度の実績を継続して積み重ねてきた評価でもあり、昨年度より全国的な問題となっており、昨年秋頃より市内においても顕在化した雇用型福祉サービス事業所の存続に関する課題も少なからず影響しているのではないかと考えています。

平成30年度より新設される就労定着支援事業との差別化により、より一層の他就労支援機関との連携強化と支援体制の引継ぎ、定着率の維持向上が求められています。市内における当事業所の役割と責務を着実に果たせるよう、引き続き就労支援体制の維持向上はもちろん、安定した事業運営を行えるよう事業の周知と併せて利用者の開拓も行っています。

○ 就労継続支援(B型)事業

今年度の生産活動においては総支給額で1,543,244円と昨年度の1,448,843円と比較して94,401円の増額となりました。これは、年度後半に新規作業の開拓を行うことと併せて、生産活動として施設内外の作業科目に継続して取り組む一方、地域におけるイベントに対し地域啓発を含めて法人全体として取り組んできた中で、近隣住民の方から新規作業の受託についての打診があり受託を開始し、従前から継続していた作業科目との整理・調整を行ったことが大きな要因です。

しかし、平均月額工賃は7,755円と昨年度より524円の減額となりました。これは3月には定員14名に対して13.71名の月平均利用となるなど利用状況が大幅に改善したことにより、工賃の支給対象者もそれに伴い増加したためです。平成30年度からは報酬改定により工賃実績に基づく算定構造となるなど、より福祉的就労の場としての役割を求められていることから、今後も作業科目の見直しや、施設整備も念頭に新規作業を検討するなど、より一層の工賃向上に取り組んでいきます。

就労支援については、利用される方個々の体調や希望に応じて取り組みました。希望に応じては法人内他事業への移行も視野に引き続き取り組んでいきます。また、年齢や体調により一般企業での就労ではなく、福祉的就労を希望される利用者も増加しており、今後の高年齢化に伴う生活課題についても医療機関や行政、相談支援事業所等との連携強化に引き続き取り組んでいきます。

その中で、平成30年度より新様式での策定が義務付けられている工賃向上計画を踏まえた、利用される方個々に配慮した支援を行えるよう、法人内外における各種研修への参加など、人材育成に取り組んでいきます。

地域活動支援センターとまり木 平成29（2017）年度 事業報告書

地域活動支援センターとまり木

施設長 長谷川 徹

1. 事業総括

引き続き当年度も、創作的活動、生産活動、社会との交流の促進等の事業を行うことにより、障がいの有無にかかわらず生活のしにくさを感じている当事者、家族のセーフティネットとしての生活訓練及び日中の居場所作りに貢献できたと判断いたします。

また、利用については医療機関、基幹相談支援センター、ハローワーク、相談事業所等からの問い合わせが増えています、福山市唯一のⅢ型地域活動支援センターとして障害福祉サービスを受けられない人たち（いわゆるグレーゾーンの人）の受け皿としての当事業の必要性が増している事を痛感します。来期も当事業所を利用し生活支援、相談、情報提供を行っていき利用者の社会復帰に貢献していきたいと思います。

① 生産活動について

（株）永山（フルーツキャップ梱包）、ビッグベアー（有）（洋服ハンガー掛け）、内職市場（ねじワッシャー通し、ビーズ糸通し等）、（社）トータルライフサポートふくやま（清掃、各種スポット作業）、（株）ハッピーホーム（DM封入）、草刈（地域の方々の自宅、あるいは共用の場の草抜き草刈）を行いました。更に今期からは、（株）コバック（ボルト袋詰め作業）、シンコー（株）（施設外作業）を請け負うようになり、更に作業の多様性を図ることができました。今後も利用者の作業効果が高い品目を選定し作業参加できるように促していくことが重要と感じています。

② 地域交流活動について

「すみれ工房」と協働し例年参加させていただいている「東町内会夏祭り」「中ノ丁町内会ふれ愛夏祭り」「ふれあい福祉祭り」に引き続き参加し地域交流を図っていきました。更に本年度も引き続き（社）トータルライフサポートふくやまよりの多くのイベントを行い地域の方々との交流に貢献しました。

③ 創作活動について

例年御協力頂いている毎月第三土曜日の「おりがみ教室」（高橋敏子先生）、毎週火曜日「さをり織教室」（村田紀美子さん）を行い、利用者の創作意欲を刺激することができました。

④ 体力作りについて

例年行っている毎月第四土曜日の「障害者体育センターでのスポーツレクリエーション」を行ないました。

2. 実績報告

- 利用者の定員20.....人
- 利用登録者 37 人（平成 30 年 3 月 31 日付）
（うち身体障がい者.....2.....人，知的障がい者.....5.....人，精神障がい者.....30.....人，障がい児.....0.....人）
- 各月の登録利用者数等

月	事業実施日数	在籍者数 (各月 1 日現在)	各月の平均利用者数	新規利用者数	利用休止・中止者数
4	20 日	33 人	11.5 人	1 人	1 人
5	18 日	33 人	11.8 人	0 人	1 人
6	22 日	32 人	12.2 人	2 人	0 人
7	21 日	34 人	12.0 人	1 人	0 人
8	22 日	35 人	11.1 人	0 人	0 人
9	21 日	36 人	10.2 人	1 人	2 人
10	20 日	35 人	10.2 人	0 人	0 人
11	20 日	35 人	11.3 人	0 人	0 人
12	20 日	35 人	11.5 人	2 人	0 人
1	20 日	37 人	11.3 人	0 人	0 人
2	20 日	37 人	11.4 人	0 人	0 人
3	22 日	37 人	11.6 人	0 人	0 人
合計	246 日			7 人	4 人

- 各月の通所利用者数

月	事業実施日数	各月平均通所者数
4	20 日	11.9 人
5	18 日	11.8 人
6	22 日	12.2 人
7	21 日	12.0 人
8	22 日	11.1 人
9	21 日	11.7 人
10	20 日	10.2 人
11	20 日	11.3 人
12	20 日	11.5 人
1	20 日	11.3 人
2	20 日	11.4 人
3	22 日	10.6 人
合計	246 日	11.4 人

● 実施行事

月、日	行事内容
毎週金曜日	・産業カウンセラー・高橋恵子氏によるカウンセリング（社会的自立に向けた相談支援）
毎月第4土曜日	・体力作り事業、障害者体育センターに於いて運動（主に球技）を行う
毎月第3土曜日	・「折り紙教室」（高橋敏子氏）
原則 毎週火曜日	・「さをり教室」（村田紀美子氏）
4月8日（土）	・観桜会 お花見 （すみれ工房協働）
5月13日（土）	・バーベキューパーティー （すみれ工房協働）
7月8日（土）	・親睦ボーリング大会 （すみれ工房協働）
7月22日（土） 8月19日（土）	・地域町内会夏季祭事（地域夏祭り） （すみれ工房協働）
10月21日（土） 10月22日（日）	・ふれあい福祉まつり （すみれ工房協働）
12月9日（土）	・クリスマス会（望年会） （すみれ工房協働）
1月4日（木）	・新年初詣（福山八幡神社） （すみれ工房協働）
2月3日（土）	・節分手巻き寿司大会 （すみれ工房協働）
3月15日（木）	・軀 街並み雛祭り見学

※その他 レクリエーション、研修、見学は利用者ミーティングで決定し行いました。

● 職員研修の実施状況

実施年月日	会議等の種別	内 容 等
平成29年 5月13日	講演会 「地域での暮らしを支えるために私たちができること」	広島県精神障害者支援事業所連絡会主催 愛媛県愛南市御荘診療所、 所長 長野敏弘 様 ※障害者と地域の連携について現状報告
6月10日	講演会 「いのち 輝け」	講演者：青木道忠 NPO法人子供・若者支援ネットワーク理事長 ※不登校児の問題
6月20日	研修会 「障害のある人の権利擁護と差別解消」	講演者：森木聡人 広島県障害者虐待防止ネットワーク推進委員 ※ 障害者の権利擁護について

5月26日	府中福山地区 P S W勉強会	P S W勉強会に生活支援の立場から出席
10月19日	福祉施設の為の苦情対応	平成29年度 「福祉施設の為の苦情対応」セミナー 講演者：宮本 薫 SOMPOリスクマネジメント(株) ※福祉職員のリスクマネジメントをコンプライアンスの定義
12月26日	所内研修 「高次脳機能障害について」	所内で「太田記念病院リハビリテーション課、作業療法士柳田美里様を招いて高次脳機能障害について研修。
平成30年 1月5日	S S Tファーストレベル	S S T（社会生活技能訓練法）を学ぶ
2月15日	障害者ケアマネジメント研修	ミスポジションモデルを使ってのケース把握とニーズの切り出し方を学ぶ

3. 年度内における職員の異動状況

(1) 新規採用

非常勤 1名 ， 平成29年6月1日付

常勤 1名 ， 平成29年8月1日付

(2) 退職

常勤 1名 ， 平成29年5月31日付

非常勤 1名 ， 平成29年8月31日付